

| 科目名<br>Course Name  |   | 開講年次    | 開講学期 | 曜日・時限        |
|---|---|---------|------|--------------|
| 情報基礎演習 I<br>Information Basics Practice I   |   | 1年      | 後期   | 別途、時間割参照     |
| 単位数   | 授業の形態   | 授業の性格   |      | 履修上の制限       |
| 1単位   | 演習  | 選択      | (なし) | なし           |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目  |   |         |      |              |
| なし  |   |         |      |              |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目  |   |         |      |              |
| コンピュータリテラシー II  |   |         |      |              |
| 担当者に関する情報   |   |         |      |              |
| 氏名  | 研究室の場所  | オフィスアワー |      | 電話番号・メールアドレス |
| 亀田和則  | 講義棟 2階  | 月曜日     |      | 授業中に指示します    |
| 授業の概要   |   |         |      |              |
| Excel VBAの使い方を学ぶ。   |   |         |      |              |
| 授業の目標   |   |         |      |              |
| ①マクロとVBAの違いについて説明できるようにする。<br>②プロシージャについて説明できるようにする。<br>③オブジェクト・プロパティ・メソッドについて説明できるようにする。<br>④演算子・条件分岐について説明できるようにする。<br>⑤ループ・変数について説明できるようにする。<br>⑥VBAの関数について説明できるようにする。 |   |         |      |              |
| 授業の方法   |   |         |      |              |
| 演習形式で、必要に応じて講義を行いながら進める。<br>各章が終了したときファイルの提出を求める。<br>理解度の確認を2回実施する。   |   |         |      |              |
| 学習の成果 (学習成果)  |   |         |      |              |
| 授業の目標①②③④⑤⑥を達成すると、簡単なVBAを作ることができる。  |   |         |      |              |
| 授業のスケジュールと内容  |   |         |      |              |
| 第1回目  | ガイダンス (学習成果、成績評価)   |         |      |              |
| 第2回目  | マクロとVBA<br>マクロとVBAの関係、マクロを記録・実行してみよう、マクロの正体であるVBAを実際に見てみよう、VBAのプログラミングじゃないとできないこと |         |      |              |
| 第3回目  | VBA記述の基本<br>プロシージャ、Subプロシージャを作成してみよう、Subプロシージャを実行してみよう                            |         |      |              |
| 第4回目  | VBAのキモであるオブジェクトをマスターしよう<br>オブジェクト、プロパティ   |         |      |              |
| 第5回目  | VBAのキモであるオブジェクトをマスターしよう<br>メソッド、Withステートメント                                       |         |      |              |
| 第6回目  | 理解度の確認 1 と解説  |         |      |              |

|       |   |
|-------|---|
| 第7回目  | 演算子と条件分岐<br>演算子とは、演算子を使ってみよう、条件分岐「Ifステートメント」の基礎と比較演算子/論理演算子   |
| 第8回目  | 演算子と条件分岐<br>Ifステートメントを使いこなそう、Select Caseステートメント、「計算ドリル」で演算子と条件分岐を使ってみよう                             |
| 第9回目  | ループと変数<br>「ループ」が必要となるケース、変数の基本、ループの基本 For...Nextステートメント、「計算ドリル」で繰り返しを使ってみよう                         |
| 第10回目 | ループと変数<br>「計算ドリル」のループ作成を通じて学ぶプログラミングのコツ、再び変数を学ぶ   |
| 第11回目 | ループと変数<br>変数の有効範囲と有効期限、定数を自分で定義して使う、その他の繰り返し  |
| 第12回目 | VBA関数～VBA専用の関数を使おう<br>関数とは、「計算ドリル」で関数を使ってみよう  |
| 第13回目 | VBAの実践アプリケーション「販売管理」の作成<br>アプリケーション「販売管理」の作成の流れ、請求書のテンプレートのワークシート「請求書雛形」を末尾にコピー、「販売」から該当データを請求書へコピー |
| 第14回目 | VBAの実践アプリケーション「販売管理」の作成<br>「請求書作成」プロシージャを複数の顧客に対応させる、「ユーザーフォーム」で顧客を選べるようにする                         |
| 第15回目 | 理解度の確認2と解説  |

#### 成績評価の方法と基準

| 評価の領域      | 割合  | 評価の基準   |
|------------|-----|---|
| 授業参加態度     |     |   |
| レポート       | 70% | ファイル提出が該当する。ファイル1つあたりの配点は70点/7である。満点条件は「教科書とおりの内容のファイルが作られている」である。    |
| 調査報告書      |     |   |
| 小テスト       | 30% | 理解度の確認が該当する。1確認の配点は30点/2である。満点条件は「提出されたプログラムに対して、何も施すことなく正常に動作する」である。 |
| 試験         |     |   |
| 発表内容（態度含む） |     |   |
| その他        |     |   |

#### 教科書と参考図書

教科書：「Excel VBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本」（出版：秀和システム）※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。

#### 履修上の留意点・ルール

教科書を購入していない学生はこの授業を履修出来ない。  
2回の遅刻は1回の欠席となる。